

組込型金融のGeNiE、「第三回 日本新規事業大賞」にて「審査員特別賞」を受賞

2026年4月15日（水）幕張メッセにて開催、代表取締役社長 齊藤雄一郎が最終ピッチを実施

GeNiE株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：齊藤雄一郎、以下「GeNiE」）は、この度、2026年4月15日（水）に幕張メッセにて開催された「第三回 日本新規事業大賞」において、最終審査の結果「審査員特別賞」を受賞したことをお知らせします。



GeNiEは、レンディング（貸付）領域におけるエンベデッド・ファイナンスを推進するべく設立された、消費者金融のリーディングカンパニーであるアコム株式会社の子会社です。エンベデッド・ファイナンスとは「事業会社が、自社のサービスに金融サービスを組み込んで提供する」ことを指します。GeNiEは、2024年6月より、Webやアプリを通じてサービスを提供する事業会社が既存事業にレンディング機能をプラスするための組込型金融サービス「マネーのランプ」を提供しています。

この度、企業から生まれる新規事業に光を当て、事業会社内で挑戦する起業家マインドを持つ人々を応援するアワード「第三回 日本新規事業大賞」において、8社のファイナリストのひとつとしてGeNiEが選出され、2026年4月15日（水）に幕張メッセにて、最終審査および審査結果の発表が行われました。

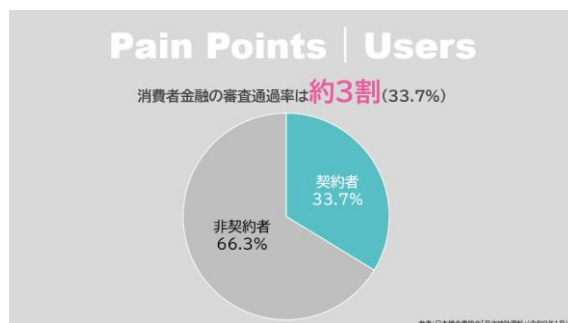
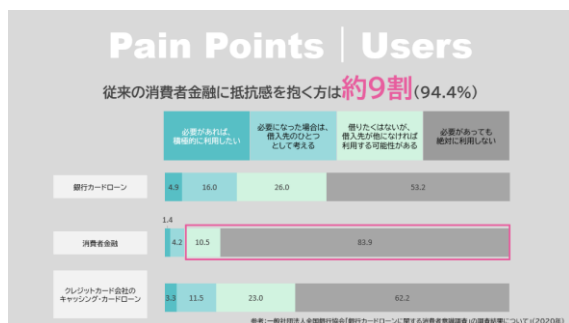
当日は、代表取締役社長の齊藤雄一郎が最終ピッチを行い、厳正なる審査の結果、GeNiEは「審査員特別賞」を受賞いたしました。

GeNiEは今後も、「マネーのランプ」を通じて、新たな“信用のカタチ”をデザインし、一人でも多くの資金難を解決することで“夢”の実現をサポートし、より社会を豊かにしていくべく努めてまいります。

■GeNiE株式会社・マネーのランプについて

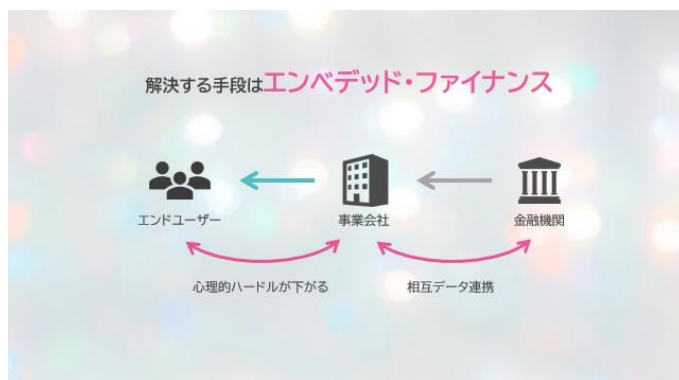
GeNiE株式会社は、2022年に三菱UFJフィナンシャル・グループのアコムの子会社として設立されました。

従来の消費者金融の利用に抵抗を感じる人は約9割と心理的なハードルが高く、高いハードルを乗り越えて申込んでも消費者金融の審査通過率はわずか3割と、残り7割の資金ニーズに応えられていない現状があります。これは、金融機関の多くが属性などの表面的なデータのみで与信判断を行わざるを得ないことに起因しています。



こうした資金ニーズを解決する手段が、エンベデッド・ファイナンス（組込型金融）であり、日本初のエンベデッド・レンディングとして誕生したのがGeNiEの「マネーのランプ」です。

エンドユーザーは普段使っているアプリの中で、自然にお金を借りることができるため心理的ハードルを下げられる上に、データ連携により自分に合った与信を受けられることとなります。

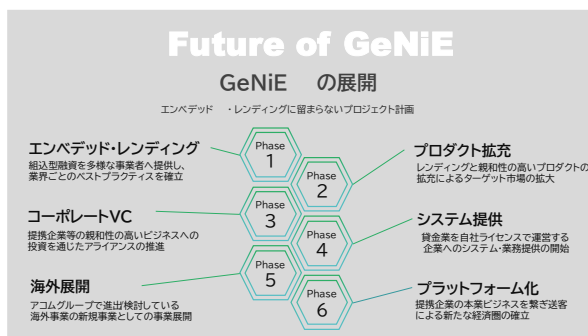


また、事業会社にとっては、API接続だけで金融事業に参入することができ、レベニューシェアにより新たな収益源を得ることも可能になります。金融業務は全てGeNiEが担うため、特別なライセンスや金融事業に関する知見は必要ありません。



マネーのランプは、業界トップのアコムグループのデータ・ノウハウ・知見を活かし、最短2週間の導入スピード、コスト0円、高いサービス品質を実現したサービスです。

営業開始1年半で提携社数は29社、累計申込者は40万人に到達しました。今後、アコムグループの知見を活かした高度な与信を確立し、5年後には提携数100社超、さらには海外展開やプラットフォーム化を見据えています。



GeNiEは、今後もエンベデッド・ファイナンスを通じて、新たな“信用のカタチ”をデザインすることで、一人でも多くの願いをサポートしてまいります。

「マネーのランプ」サービスページ：<https://genie-ml.com/money-lamp/>

■「日本新規事業大賞」について

国内のスタートアップ産業が盛り上がるなか、大企業をはじめとした既存企業の内側からも新価値を生み出す「新規事業」が大きな盛り上がりを見せています。本アワードでは、大企業や中小企業で活躍する注目の社内起業家を表彰します。新価値創造に挑み、企業変革を担う社内起業家たちに光を当て、本アワードを通じ、この国の未来を担う挑戦者同士の出会いを生み出します。

「第三回 日本新規事業大賞」特設サイト：<https://sj.innovationaward.jp/>

■GeNiE株式会社について

会社名：GeNiE株式会社

本社所在地：東京都中央区八丁堀二丁目10番9号

代表者：代表取締役社長 齊藤 雄一郎

設立：2022年4月1日

URL：<https://genie-ml.com/>